

「最近子どもとじっくり話したことがありますか？」

海岸 秀道

新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年は特に中東やフランスなどで憎悪と暴力の連鎖から、多くの命が失われる悲しい出来事が続発し、見るに耐えない映像を目にすることが多くありました。命が軽視される報道にたびたび触れることによって、倫理観・道徳観が麻痺してしまうのか、青少年が命を軽んずる事件も続発しています。

川崎市の多摩川河川敷で中学1年生男子が殺害された事件や、千葉県芝山町で18歳の少女が生きたまま畑に埋められた事件はとてもショッキングでした。

昨年末、11月下旬には、山形県で23歳と17歳の若いお父さんお母さんが、スマホのゲームをするのに赤ちゃんの泣き声が邪魔になると、生後16日の赤ちゃんを何とゴミ箱に押し込んで、赤ちゃんが窒息死してしまったという、信じられない事件も起こりました。ほんの16日前にお腹を痛めて授かった赤ちゃんを、ゲームがしたいという理由でゴミ箱に押し込む行為。23歳と17歳の若い両親はわが子の命をどのように受け止めていたのでしょうか？

関東のある小学校では「人は死んだら生き返りますか？」という質問に、「はい、生き返ります」、あるいは「生き返ることもある」と答えた子どもが4割にのぼり、スマホやテレビゲームの影響なのか、「3回までリセットできる」と答えた子も少なくなかったそうです。

このような命に対する受け止めが、命を粗末にすることに繋がる一面があるのではないか、と大変心配しますし、未恐ろしくも思います。

子どもや孫と共にお念仏を申しつつ、命の尊さをいただいてまいりたく思います。

今年もよろしく願いいたします。